

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2012. 6. 11

3, 4年生用 No.19

人は見た目で判断される！



世の中では「見た目で判断」されたり、「第一印象で判断」されることが少なくありません。普段はそんなことどうだっかまわらないと思っても、就職試験等人生の岐路に立たされた時、本人の中身よりも表面的なことで簡単に判断されることは困ります。しかし**現実はそのことの方が多い**のです。見た目ではなく自分の良さをじっくり見て欲しいと思っても、個人の中身や真の姿を理解してもらうには時間が必要です。その結果どうしても「見た目」や、「第一印象」で判断されることが多くなります。見にくい青虫を見ただけでは、それがやがて綺麗な蝶になることなど誰も気付きません。

さらに悪いことに本人を見て判断されるならまだしも、例えば企業の方が本校へ来た際たまたま廊下や玄関ですれちがった生徒を見て、「**学校**」という**大枠で判断されることもありがち**です。**一部の不心得者のおかげで、学校全体が色眼鏡で見られてしまえば何とも残念**です。

こうしたことの善し悪しを云々しても仕方ありません。皆さんはこうしたことがありがちということをもっとしっかり意識し、見た目や第一印象で悪く判断されない為にはどうしたらよいかを日頃から考え、日常生活をきちんとすることを心がけて欲しいものです。**進路決定を控える皆さんにとっては大変重要なこと**ですよ！。

中身で勝負するのは入ってから！



才能とは…だれかに
見つけてもらうものでもないし、
何もしないで
そこにあるものでもない。
手間と時間とお金をかけるのが
まったく苦にならないこと、
果てしなく続くくりかえしに
耐えられること。
(水曜日の神さま、角田光代)
【コメント】
ダイヤは磨かなくてはその良
さが十分に発揮できないように、
才能も、産まれながらにあるだ
けでは駄目。自ら常に磨き続け
なくては光らない。
才能あるものをうらやましが
り、自らの才能に気づかず、そ
れを磨こうとしなければ、何の
才能も発揮できない。

君のやりたい仕事は何？

いよいよ自分の進路先を決めなくてはならない時が迫っています。皆さんは自分がどんな仕事をやりたいかきちんと答えられますか。またそれを実現できる自信がありますか。プロ野球選手になりたい、芸能人になりたい・・・と夢を語っても、夢と現実のギャップが大きい場合が少なくありません。多くの人にとって実現可能性のあるやりたい仕事を明確に答えることは案外難しいものです。しかし会社に入ってから「こんな仕事は嫌だ」といっても困ります。**そもそも「自分のやりたいことは何か」をどこかで立ち止まり真剣に考えてみることは必要です。今がその時です。**

人生は必ずしも自分の思いどおりにならないことの方が多いですが、就職希望者は**どういう分野の仕事ならば、あるいはどういう会社ならば長く続けられそうかしっかり見極めて欲しい**ものです。

